



株式会社AIS様

[ 中古車検査 ]

## 中古車検査業務から事務作業へ、素早い切り替えが可能な2WAYのPCが、検査員の働き方改革を支援。

中古車検査専門会社である株式会社AIS様(以降、AIS様)は、中古車流通における公平な第三者機関として、中古車の「車両検査」を4輪、2輪ともに実施されています。その厳正な検査は業界内で高く評価され、各大手自動車メーカー系中古車事業会社からも厚い信頼が寄せられています。同社は年々増加する検査の需要に対応するため、2003年に頑丈ノートPC TOUGHBOOK CF-M34を導入されて以来、さらなる効率化のため15年以上にわたりTOUGHBOOKシリーズをご愛用いただき、検査現場のIT化・業務効率化を推進。2017年にはタブレットとノートPCの両用ができる10.1型頑丈デタッチャブルPC TOUGHBOOK CF-20を導入され、検査員の「働き方改革」にも役立てられています。



(写真上)現場での検査業務時はキーボードを取り外し、タブレットとして使用。ハンドストラップで持ちやすさをアップ。

(写真左)キーボードを取り付ければ事務所と同じ情報環境を利用できるため、場所を選ばず事務作業が可能に。検査員業務のモバイルワーク化を推進。



総合戦略部システムチーム  
リーダー  
菊池 兼輔 様

検査部  
ゼネラルマネージャー  
平井 浩二 様

首都圏第二エリアオフィス  
第一ブロック ブロック長  
和本 淳 様

### 導入の背景

頑丈・高性能で検査現場のIT化に貢献したTOUGHBOOKを、より機動性、操作性の高いデタッチャブルモデルに移行。

AIS様が2003年に初めてTOUGHBOOKを導入された際、中古車を検査した後の報告書作成業務の効率化が課題となっていました。従来は、検査員が現場で用紙に検査結果を記入した後、事務所のPCで報告書に打ち直しており、報告書の作成にかなりの時間がかかっていました。そのため以前はタイピング業者を雇い、事務処理を実施。また検査員ごとに記述の仕方が異なり検査結果に微妙な差異が出るという課題もあり、効率と精度、両方の向上を目指して、AIS様は現場でノートPCを用いて検査結果を直接入力する「車両検査システム」の開発・導入に取り組みました。当時からそのシステム運用端末として選ばれ続けているTOUGHBOOKの魅力について平井様は振り返ります。

「検査業務は日本全国の拠点で行うので、北海道から沖縄までさまざまな環境への耐久性が必要です。また検査はスピーディーさが求められるため、従来はメモ用紙を挟んだバインダーを地面に無造作に放ってしまっていました。特に職人気質の高い年配の検査員はノートPCでもバインダー感覚でラフに扱う可能性が高く、一般的な端末では3日ともたないでしょう」。

そこで、高い耐衝撃性や温度変化への耐性、防水・防塵性などTOUGHBOOKの頑丈性が大きな魅力に。また、屋外での視認性も良い高輝度液晶や長時間の業務をこなせるバッテリー性能なども魅力となり、2007年からはTOUGHBOOK CF-19が導入されました。以来、タブレット型のTOUGHBOOKシリーズも導入。その後キーボード入力の需要を再確認され、デタッチャブルタイプのTOUGHBOOK CF-20を導入されたといえます。また、TOUGHBOOK、TOUGHBOOKPADを長年愛用するユーザー目線から、続けてこのような評価もいただきました。

「いろいろなタブレットやノートPCを見てきましたが、TOUGHBOOKシリーズは使用者目線で使い心地を考えた工夫がよくなされていると感じます。タブレットとして持った時のフィット感の良さや、細かい部分ですがUSBポートのカバーがスライド式になって開けやすくなったこと、ハンドル付きで持ち歩きやすいといったところも、便利だと思います」。

#### 導入のポイント

##### ポイント1

防水、防塵、耐衝撃など、  
検査現場に欠かせない頑丈性能

##### ポイント2

屋外でも見やすい高輝度液晶や  
長時間の連続使用が可能なバッテリー

##### ポイント3

タブレットとノートPCの両用が可能な  
デタッチャブルモデル



## 導入のメリット

検査支援端末として、個人PCとして、1台2役で検査員の業務をフレキシブルにサポート。

AIS様では2017年にCF-20を導入し、全国の検査員へ支給されました。インストールされているのは、車両検査システムのほか、自動車内部のシステム系の故障を調べる専用機をBluetooth接続して使用する「故障診断システム」。現場での検査業務ではキーボードを外してタブレットとして使用し、またキーボードを装着したノートPCの状態では、社内イントラやメールによる取引先からの検査依頼確認や、実績の管理など事務作業に使用されています。まず検査業務については、検査員が中古車販売店などの取引先へ訪問し、現場でCF-20のキーボードを外してタブレット部分のみで使用。車両検査システムを起動し、中古車の損傷や修繕の度合いを目視で確認しながら、画面の車両展開図で損傷箇所をタッチして入力すると、同時に報告書が自動生成されていきます。車両情報など、長文の入力が必要になった時はキーボードを装着し、文章を素早く入力。中古

車1台あたり15分～20分程度のスピードで、検査が終了します。  
また検査業務後の報告書作成については、紙のメモを転記していた頃は検査後から取引先へ報告書を送付するまで最長1週間ほどかかっていたのが、現在は遅くとも検査翌日には報告書の送付が完了。検査台数増に貢献し、報告書作成にかかっていた人件費も削減されました。また検査基準が標準化されたことで検査品質のばらつきが無くなり車両検査システムを利用した検査はお客様からの反応も良いそうです。そして、現場での検査業務以外の事務作業についても、CF-20により業務効率化が実現しました。従来は事務所のデスクトップPCを使っていたため、取引先への訪問前や訪問後に事務所に立ち寄って事務処理をする必要があり、特にブロック長など管理業務を担当する検査員の負担となっていました。CF-20の導入後は個人用PCをデスクトップPCからCF-20に置き換え、場所を選ばずにCF-20を使って日報作成やメール返信などの事務作業をすることが可能となりました。直行、直帰できる日が増えたことで残業時間が削減され、検査員の負担軽減につながったのはもちろん、働き方も変わってきたと和木様は語ります。

「ちょっとした空き時間にCF-20を使ってお客様へメールでアポイントを入れておき、翌日の業務を効率良く進めていくことや、検査の合間にお客様からの依頼メールを確認して、飛び込み営業的に検査へ向かう機会を増やすこともできました」。

また、端末の機器管理の面でもメリットが。検査員が端末を管理する際の負担が軽減されるのはもちろん、端末にインストールするソフトウェアのライセンスが1台分に集約されライセンス料が削減できるため、AIS様では長期利用によるコスト的なメリットも期待されています。

## TOUGHBOOKを活用したこれからの展望

検査員の増員に伴う導入台数増を予定。海外事業の拡大にも、CF-20の活躍に期待。

このような業務効率化を続ける中、AIS様は年々、検査実績を伸ばされており、2016年度は78万台、2017年度は84万台と右肩上がりの推移を達成。さらに2018年度は90万台を目指すかと平井様は語ります。

「需要の拡大に対応するため、今後は検査員の増員を予定していますが、それに合わせてCF-20も新たに導入していきます」。

またAIS様は、中国、タイ、マレーシアで試験的に海外事業を展開されていますが、現地人スタッフの教育においても、CF-20と車両検査システムを活用していくことを想定されていると平井様。

「海外でも当社の認知を高めていきたいと考えています。そのための人材教育においては、言葉や文化、中古車に対する考え方など、日本とは異なる部分がネックにはなるのですが、車両検査システムで検査における評価基準が標準化できていることが今後の足がかりにもなっていくはずです」。



CF-20は高性能CPU搭載のため、車両展開図などの画像データを何度も再描画する車両検査システムを待機時間無しで迅速に稼働。



採用機種：10.1型頑丈デタッチャブルPC  
TOUGHBOOK CF-20  
用途：車両検査システム、故障診断システム

## 導入メリット1

報告書作成業務を大幅に省力化。  
検査精度の向上にも貢献

## 導入メリット2

モバイルワークにより、使用者全体で  
残業時間を月100～200時間削減

## 導入メリット3

検査員の情報端末を1台に集約し、  
管理・運用コストを削減

※掲載内容は取材当時(2018年4月)のものです。

お問い合わせは…

【法人向けPCご購入前相談窓口】

ご購入相談、デモ機お貸出し、カタログ請求、法人向け案件別対応など

ダイレクトマーケティングチーム

☎ 0120-878655

受付時間 9:30～17:30(土日、祝日、年末年始、弊社所定の休日を除く)

パナソニック株式会社 モバイルソリューションズ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

このチラシに記載の内容は  
事例取材当時のものです。

JPN18EAI518F